

佐野市立吉澤記念美術館  
令和5年度「アートリンクとちぎ」展美術梱包輸送等に係る仕様書

業務	場所	内容	作業内容
①作品借用 (梱包・輸送) (1日間) 令和6年(2024) 1月11・12、15日頃 午前9時 ～午後6時	宇都宮市内美術館  (現地集合) →吉澤記念美術館	美術品専用車  4t車1台 作業人員3名 (運転手含む)	【作品数・内容】 別紙リストを参照 軸装・屏風・額装 計40点程度  【作業内容】 宇都宮市内美術館で検品・梱包 →吉澤記念美術館へ輸送・搬入
②作品展示 (1日間) 令和6年(2024) ①の翌日～17日頃 午前9時 ～午後5時	吉澤記念美術館 展示室及び収蔵庫	人員輸送車 作業人員4名	【作品数・内容】・作品数は①と同じ ・額装作品の設置 ・軸装作品の設置(上下巻き壁掛け・平置き有) ・卷子作品の設置 ・写生帖(ノート・和綴本・折本)の設置 ・展示用軸ケース・平台等の設置 など
③作品返却 (検品・梱包・一部開梱) (1日間) 令和6年(2024) 3月7～8日頃 午前9時 ～午後6時	吉澤記念美術館  →午後4時までに 宇都宮市内美術館 搬入作業 (現地解散)	美術品専用車 4t車1台  作業人員4名 (運転手含む)	【作品数・内容】 ①と同じ  【作業内容】 所蔵館学芸員立会のもと検品→梱包→搬出輸送 →所蔵館搬入(数点程度のみ開梱検品、その他は搬入のみ)
借用・返却先	宇都宮市内美術館		
展覧会会期	2024年1月20日(土)～3月3日(日)		
輸送品内容	近代日本画。別紙リストのとおり予定。約40点程度 ※油彩画、水彩画、資料類も含む		
梱包仕様	箱は別紙リストに「箱作成」と記載があるものを作成する ガラス保護テープを用意する 箱あり作品については、薄様紙・エアキャップ・クラフト紙・カートン等で適宜保護する。 写生帖は適宜薄葉紙等で保護し、当方持参の中性紙箱に入れ、適宜梱包。		
展示作業仕様	輸送品内容の扱いに熟達した作業員が作業にあたること 委託を受ける会社の者が作業の指揮を執ること		
その他	作品積載時は高速道路を優先したルートを想定すること ・作品内容が多少変更になることがあります(積算に影響ない範囲)		
輸送保険	受注者決定後、見積・契約を行います。見積額に含めないこと。		

アートリンク展予定作品リスト

展示順	作品名	年代	寸法(縦×横) cm	外寸 [軸先] (cm)	推定箱寸 (軸・巻は長さ)	箱作成指示等	形態	材質技法	箱有無
001	春景図		66.5×133		87×153		額	紙本着色	○
002	日本橋浜町河岸	1910	41.1×27.4		62×48	ガラスの可能性あり 保護フィルムテープ用意	額	カンヴァス、油彩	○
003	日本橋浜町小下絵				平箱(50×60)	平箱を美術館から持参 (作らない)	紙もの		一括
004	秋葉原 [裏面] 東京	1909	10.3×17.9		版画額箱寸: 47.2×40.5×厚3.7		版画額	紙、鉛筆、水彩	○
005	戯画		135.6×31.8	224.0×41.5 [47.0]	52		軸	紙本着色	○
006	大正大震災之一	1923	29×50.2		版画額の寸法: 66.0×51.5×厚4		版画額	紙本着色	○
006	大正大地震大火災之巻	1923	27×1036		35		卷子	紙本墨画	○
007	後徳大寺左大臣		38.5×43.7	132.5×55.5 [60.6]	64		軸	紙本墨画	○
008	白文公		137.3×35.3	209.0×46.7 [52.4]	56		軸	紙本着色	○
009	西王母	1932	131×55.5	230.0×72.8 [80.5]	76		軸	紙本墨画	○
010	寒山拾得	1933	90×85		110×105		額	紙本着色	○
011	菜果図		38×43 (志田採寸35.7× 41.2)	掛緒部分高さ2.7 縦131.0×横54.6 軸先横60.0	63		軸	紙本着色	○
012	鱗図	1930頃	52×58.5		79		軸	紙本着色	○
013	馬図	1930年代初	49.8×53.8		74		軸	絹本墨画	○
014	魚釣		33.4×49		69		軸	紙本着色	○
015	林中旅人	1912頃	134.5×31.8		52		軸	紙本着色	○
016	雪山宝塔図	1919頃	218.5×90		110		軸	紙本墨画	○
017	山村暮秋	1926頃	(各)167×168.8		作成174.5×174.5×4.5×2本	箱作成	屏風	紙本着色	×
018	江郷夕照	1921	268×95.9		:		軸	紙本着色	○
019	踏断流水	1929	214.7×122.9		143		軸	紙本着色	○
020	四季山水	1930頃	(各)169.5×55		75		軸	紙本着色	○
021	孔雀図	1930年代初	161.7×61.5		82		軸	絹本着色	○
022	白梅図	1934	(各)168.2×110		既存: 175×116×厚4×2個		襖	紙本着色	○
023	世説新語	1934	38.5×46.8		45×50		帖	紙本着色	○
024	仿古冊	1927	21.3×15.2		25×20	美術館から平箱持参	帖	紙本着色	×
025	東京近郊スケッチ(2)	1925	21.8×29.3		版画額箱寸: 47.2×40.5×厚3.7		版画額	紙、鉛筆、水彩	○
026	行人		31.8×22.9		版画額箱寸: 47.2×40.5×厚3.7		版画額	紙、水彩	○
027	水郷三趣		25.2×53.6		版画額の箱寸: 縦60×横78		版画額	紙本着色	○
028	身辺四題 [琵琶]		25.2×53.6		版画額の箱寸: 縦60×横78		版画額	紙本着色	○
029	日記・資料類				平箱(50×60)	美術館から平箱持参	冊子		一括
030	蓬萊仙境	1928	(各)189×364		作成;175×63.5×厚12×2本	箱作成	屏風	紙本着色	×
031	満山之秋	1922	213×76		96		軸	紙本着色	○
032	松林図	1924	101.5×146.5		既存		額	絹本着色	○
033	蘭	1930	142×170		作成: 145×85×厚7	箱作成	屏風	紙本着色	×
034	子牛	1931	170×366		作成:175×62×厚15	箱作成	屏風	紙本金地着色	×
035	深秋之図		22.7×31.3		版画額箱寸: 47.2×40.5×厚3.7		版画額	紙、水彩	○
036	漁舟 (白鷺図)	1922	140.5×79.5		100		軸	紙本墨画	○